

❖ 1. 基本方針

- 公的広報及び観光キャンペーンとの効果的な連携
- 県民協働による草の根広報の展開
- フェア開催目的が的確に浸透する継続的な広報活動

❖ 2. 広報宣伝活動の展開

(1) 集客促進

- タイミング
 - 入場券販売開始時期を第1のヤマ場とし、開幕直前期～会期前半にかけて集中的に展開した。
- 媒体
 - 幅広い層に訴求できるテレビ、新聞を中心にさまざまな媒体で展開

(2) 花緑愛好家・企業・団体等への理解促進

- タイミング
 - ポール・スミザー氏やナチュラルガーデンの情報を先行して発信。また、参加協賛活動や観客誘致活動と連動させ、効果的な活動を展開した。
- 媒体
 - 園芸関係の雑誌やテレビ、機関誌のほか、ホームページやソーシャルメディアを活用。また、関係者等にフェア情報を積極的に提供し、草の根的な広報活動を展開した。

(3) 幼稚園・保育園・老人福祉施設等

フェア開幕1年前に花トリピーを活用したPRキャラバン隊を組織し、県内イベントでのPRのほか、幼稚園・保育園・老人福祉施設等を巡回し、フェア情報を発信した。

❖ 3. イメージ発信

(1) ビジュアルアイデンティティ

フェアを県内外で広く認知してもらうため、ロゴマークを印刷物、看板、グッズ等に使用し、統一的なイメージの浸透を図った。

- ①愛称『水と緑のオアシスとっとり2013』
 - 一般公募による365作品の中から、米田雅子さん(鳥取市)の作品に決定した。
- ②ロゴマーク



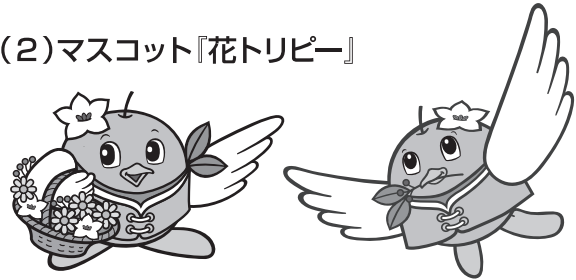
○趣旨

主会場となる湖山池のほとりをモチーフに、フェアの目指す水と緑豊かな自然と人との共生を図案化

○ロゴマークの作成方法

フェアアドバイザーであるポール・スミザー氏(英国人園芸家)のフェアイメージのスケッチを基に、県デザイナー協会に依頼して制作

(2) マスコット『花トリピー』



鳥取県のマスコット「トリピー」を緑化フェアバージョンにアレンジした。

(3) フェアアドバイザー ポール・スミザー氏

平成23年11月に委嘱。日本のナチュラルガーデンの第一人者としての知名度を生かして、講演会などのイベント開催やさまざまなメディアでの情報発信を行った。また、会場整備だけでなく、ロゴマークやポスターのデザインなど幅広くアドバイスいただいた。

(4) スペシャル応援サポーター

① 松本若菜氏(女優)

平成24年10月に委嘱。イベントやテレビ出演などでPRに御協力いただいたほか、主会場内ナチュラルガーデンエントランスの砂像を一部制作していただいた。

② 鈴木恵梨佳氏(2013年度ミス日本グランプリ)

平成25年5月に委嘱。庭園などの空間表現を作り出すデザイナーを目指していることを縁に、フェアを応援していただくことになった。イベントやテレビ出演などでPRに御協力いただいたほか、主会場に特別出展として、自身初プロデュースとなる庭が登場した。

(5) 応援団長 コヤマみどり

平成25年3月に湖山池にアザラシが出現。「コヤマみどり」という名前が付けられ、全国的に大きな話題となった。アザラシの「コヤマみどりちゃん」をフェアの応援団長に任命したほか、全国から同姓同名の応援団員を募集し、5人の方を任命した。

第10章 広報宣伝

(6)イメージソング

全国から応募のあった25作品の中から決定

「水と緑のほとりのうた」

作詞：黒田 晃太郎

作曲：平木 宏隆

❖ 4. 広報宣伝ツール

(1)ポスター

○1号ポスター(平成24年6月)A1判、B2判

○2号ポスター(平成25年1月)A1判、B3判

○3号ポスター(平成25年7月)A1判、B3判

(2)チラシ

○1号チラシ(平成24年6月)A4判

○2号チラシ(平成25年1月)A4判

○3号チラシ(平成25年7月)A3判二つ折り

(3)ノベルティグッズ

しおり付花の種、クリアファイル、ポケットティッシュ、メモ帳、クロスノート、あめ玉、シール、缶バッジ、レジャーシート、エコバッグ、花トリピーぬいぐるみ、花トリピーキャップ、ピンバッジ、ミネラルウォーター、花トリピー折紙、花トリピーぬり絵

(4)その他のグッズ

のぼり、卓上のぼり、ステッカー(車両用、入場券取扱店用)、フラッグ、花トリピー顔出しパネル、花トリピー着ぐるみ

(5)書籍の発行

湖山池ナチュラルガーデンを題材にナチュラルガーデンのノウハウが詰まった書籍「ナチュラルガーデンをつくらう！(ポール・スミザー著)」を発行。フェア会場で販売したほか、会期終了後もインターネットを通じ全国のガーデニングファンに向け販売している。

❖ 5. キャンペーン事業

県内外の大型イベントへの参加のほか、自治体やメディアなどを訪問し、PR活動を行った。

(1)オアシスえんじえる

キャンペーンスタッフ2名。ステージPRのほか、テレビ・雑誌等に出演しPRを行った

(2)PRキャラバン隊

花トリピーテーマ曲「笑顔の花をさがしにいこうよ」を

制作し、ステージPRに活用した。また、花トリピーの折り紙や塗り絵などを実施し、子どもから高齢者まで楽しませながら、フェアの情報を発信した。

(3)表敬訪問等

県内外の自治体、旅行会社、マスコミなどを訪問し、誘客や入場券販売促進に繋がるようPRを行った。

(4)イベントキャラバン

県内の各種イベントのほか、首都圏、関西、名古屋、山陽、韓国でのイベントに参加しPRを行った。

(5)ポール・スミザー氏講演会

県内をはじめ、東京、大阪、神戸、松江などで、ポール・スミザー氏の講演会を実施し、フェアのメインガーデンであるナチュラルガーデンの魅力を発信した。

❖ 6. メディアの活用

県内及び岡山地区のテレビ・ラジオ・新聞・園芸・旅行関係の雑誌などを活用し、積極的に広報を行った。また、県や鳥取市などと連携し、県内はもとより首都圏、関西圏、中京圏のメディアを活用し、フェア情報を発信した。

(1)県内メディア

①テレビ

- ・入場券発売期及び開幕直前期～会期中にかけてCMを放送
- ・開幕1年前より地元の情報番組にコーナーを設けて定期的に出演し、フェア情報を発信
- ・開幕直前期～会期中にかけて、さまざまな情報番組でフェア情報を発信

②ラジオ

- ・入場券発売期及び開幕直前期～会期中にかけてCMを放送
- ・会期中、地元の番組にコーナーを設け、毎週定期的にフェア最新情報を発信

③新聞

- ・入場券発売期及び開幕直前期～会期中にかけて広告を掲載
- ・開幕直前期に8ページの特別号を発行

④その他

- ・雑誌やフリーペーパーに、特集記事や広告を掲載

(2)県外メディア

①テレビ

- ・NHK「趣味の園芸」でフェア情報を3週連続で放送

- ・岡山ローカルで入場券発売期及び開幕直前期～会期中にかけてCMを放送
 - ・関西ローカルで開幕直前期にCMを放送
 - ・全国ネット及び関西、中京、山陽のローカル番組で開幕直前期～会期中にかけてフェア情報を放送
 - ・中四国のケーブルテレビで会期中、CM及びフェア番組を放送
- ②ラジオ
- ・岡山ローカルで入場券発売期及び開幕直前期～会期中にかけてCMを放送
 - ・会期中、関西ローカルの番組でフェア情報を放送
- ③新聞
- ・首都圏、関西、中四国方面を中心に入場券発売期及び開幕直前期～会期中にかけて広告を掲載
- ④その他
- ・園芸・旅行関係の雑誌、関西・中京のフリーペーパー、ニュースサイトに特集記事及び広告を掲載
 - ・首都圏からのプレスツアーを実施し、CSでの放送やスポーツ紙、週刊誌で掲載
 - ・外国特派員プレスツアーを実施し、中国、台湾などさまざまなメディアで掲載

❖ 7. Webによる情報発信

(1)公式ホームページ

平成24年7月に開設。見どころやアクセス、プロモーション動画などフェアの詳細情報を随時掲載した。また、湖山池や会場整備の様子をリアルタイムで視聴できるライブカメラも設置した。

(2)ソーシャルメディア

さまざまなチャンネルでタイムリーな情報を発信し、幅広くフェアの魅力を伝えた。

- フェア公式フェイスブックページ
- 花トリピーのツイッター
- オアシスえんじえるのブログ
- ユーチューブ「オアシス放送部」

(3)メールマガジン

- 実行委員等関係者向けに「オアシス通信」を発行
- 中国地方の都市・住宅行政に関わる情報を掲載する「中国地方まち・すまいづくりメールマガジン」へフェア情報のコーナーを設置

❖ 8. フォトコンテスト

(1)ナチュラルガーデンフォトコンテスト

①期間

- ・作品募集 平成25年3月19日～7月31日
- ・人気投票期間 平成25年4月1日～8月31日

②募集テーマ

我が家自慢のナチュラルガーデン(自宅の庭の写真)

③応募総数

261作品 (74人)

④入賞作品

- ・ポール・スマイザー大賞
出羽信也さん(広島県東広島市)
題名:「瑞々しさ際立つ」
- ・このほか人気投票により金賞、銀賞を各1作品、水と緑のオアシス賞7作品を選定

(2)いいね!オアシスとっとり

フェイスブックでのフェア情報拡散を促進するため、フォトコンテストを開催した。

①応募・投票期間

平成25年9月21日～11月15日

②募集テーマ

フェア会期中、主会場・湖山池公園で撮影した素敵な風景や家族や仲間と撮った思い出の写真

③応募総数

100作品 (100人)

④入賞作品

- ポール・スマイザー賞
受賞者:阿部加津子さん(大阪市) 題名:「芝山に咲く藤色の華」
- 松本若菜賞
受賞者:下地頭所美奈子さん(鳥取市) 題名:「ハーモニー」
- ミス日本・鈴木恵梨佳賞
受賞者:西垣博文さん(鳥取市) 題名:「さりげなく・・・」

❖ 9. とっとりフェア応援サポーター

平成24年7月から、名前の一部に花や緑にちなんだ文字が使われている方を「とっとりフェア応援サポーター」として募集した。応募のあった117人の方をサポーターに委嘱し、とっとりフェアのPRに御協力いただいた。

❖ 10. 屋外広告物

- ・JR鳥取駅前に残日計を設置
- ・県、鳥取市関係の庁舎に懸垂幕や横断幕を掲出
- ・県内主要駅前や観光地などに看板を掲出。
- ・鳥取市庁舎や特急「スーパーはくと」、ガイナール鳥取の試合中など、プロモーション動画やCMを放映

第11章 観客誘致

❖ 1. 基本方針

- 広報宣伝活動と連携して、鳥取市を中心に全県で緑化に関する諸活動を実施している県民や花や緑に関心のある県民の来場を促進する。
- 山陰地方における秋の観光キャンペーンや鳥取自動車道の全線開通に伴う交通網整備と連動を図りつつ、鳥取市と交通至便な地域を主対象に、県外からの誘客を図る。
- 全国都市緑化フェアの趣旨に沿い、全国的な緑化活動関係者(企業・団体等)の動員を図る。
- 入場券の販売促進キャンペーンと連動させるとともに、サテライト会場や砂の美術館をはじめとする周辺観光施設と連携し、幅広い誘客促進を図る。
- 都市緑化意識の高揚と知識の普及を図るため、一人でも多くの方に来場していただけるよう、気軽に入場できるリーズナブルな料金とする。

❖ 2. 観客誘致活動

広報宣伝、行催事、入場券販売などと連携し、関連情報を発信し、地域や主要ターゲット層などにも配慮しながら、あらゆる機会を捉えて活動を展開した。

(1) ターゲット

先催フェアにおける来場者実績から、中高年女性を主要ターゲットとし、花緑愛好家、ファミリー層についてもターゲットとした。

(2) 誘致活動

- 自治連合会、緑化・造園関係団体、花緑愛好団体、生涯学習団体、社会福祉団体、老人クラブ、企業、市町村などを訪問し、見学・視察の誘致を積極的に働きかけた。
- 県内の保育園、幼稚園、小・中・高等学校、大学などに環境学習の場としての来場を働きかけた。
- 首都圏、中京、関西、中四国の旅行代理店、バス会社を訪問し、ツアーコースにフェアの見学を組み込んだ商品造成を依頼するとともに、鳥取県観光連盟や鳥取市観光コンベンション協会などが実施する商品造成支援策等を活用しながら、誘致活動を展開した。
- 各種コンベンションなどでの周辺視察コースへの組み入れなどを積極的に働きかけた。
- とっとりフェアのホームページにより、あらゆる世代を対象に情報発信を行った。
- 県民が購入しやすいよう県内の入場券販売箇所を多く設定した。

○広域連携

- ・山陰両県の花に関する観光施設で構成する「山陰花めぐり協議会」に参加し、各施設を巡るスタンプラリーを実施した。
- ・「美鳥の大使」がメッセンジャーとなり、県内市町村を訪問した。
- ・フェアチケットの提供を特典に「フェア応援イベント」を募集し、サテライト会場や周辺自治体のイベントなどで活用していただき、フェアの認知度を高めた。

❖ 3. 入場券販売

(1) 入場料金

普通入場券に加え、団体割引及び全期間対象のパスポート入場券を設定した。また、小中高生は大人料金の半額に設定した。

区 分	料 金	
	大人	小中高生
普通入場券(当日)	600円	300円
普通入場券(前売)	400円	200円
一般団体割引入場券 (有料20名以上の団体)	500円	250円
パスポート (期間中何度でも入場可)	1,000円	500円

※無料入場者

- ・小学生未満の幼児
- ・身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳を所持する方及びその介護者1名
- ・学校行事団体(小・中・高校生)の児童・生徒及び引率者である教職員(医師・看護師含む)
- ・一般団体及び学校行事団体に付き添う添乗員、バス及びタクシー乗務員
- ・その他実行委員会が必要と認めた者

(2) セット入場券

他施設との周遊を図るため、「鳥取砂丘砂の美術館」及びサテライト会場の「中国庭園燕趙園」、「とっとり花回廊」とのセット料金を設定した。

区 分	料 金	
	大人	小中高生
砂の美術館セット入場券	800円	400円
燕趙園セット入場券	600円	300円
とっとり花回廊セット入場券	1,100円	550円
とっとり花回廊団体セット入場券	900円	450円

(3)販売体制等

①販売期間

前売り…平成25年1月21日～9月20日
 当日売り…平成25年9月21日～11月10日

②販売場所

- ・鳥取県内販売箇所数:275カ所
- ・鳥根県内販売箇所数:18カ所
- ・山陰両県以外では、主要旅行代理店、コンビニ等

③販売方法

(ア)事務局直接販売

- とっとりフェア事務局職員、鳥取県職員、鳥取市職員による販売
- 実行委員会を構成する関係団体やとっとりフェアへの参加企業・団体などの協力による販売
- 県内の観光案内所、公共施設、旅館、JR主要駅、郵便局、書店などに委託して販売
- 広報宣伝活動やイベントなどと連携した販売

(イ)販売代理店などへの委託販売

- 県内外の旅行代理店、交通機関、プレイガイド、コンビニなどで販売

(4)入場券購入特典

- ・県内の他の観光施設や鳥取市内の小売店等と連携し、フェア入場券の提示で割引などのサービスが受けられる特典を付与した。
- ・鳥取市100円循環バス「くる梨」の一日乗車券として利用できる特典を付与した。

(5)入場券販売枚数

区分	前売期間 販売枚数	開催中 販売枚数	入場券 総販売枚数
普通	84,931	25,111	110,042
団体	-	2,189	2,189
パスポート	1,997	899	2,896
各種セット券	13,496	6,166	19,662
計	100,424	34,365	134,789

❖ 4. 来場者数

会場	実績	目標
主会場・湖山池公園	187,385人	30万人
サテライト会場	70,972人	10万人
東郷湖羽合臨海公園	14,071人	3万人
とっとり花回廊	56,901人	7万人
計	258,357人	40万人

来場者アンケート(詳細は資料編を参照)によると、来場者の満足度は非常に高かったものの、開幕当初は、交通アクセス問題等により、思うほど来場者数が伸びなかったが、改善を図ることによって、徐々に増加する傾向になった。

結果的には、目標来場者数を下回ったが、これは次の要因が考えられる。

○悪天候

開催期間(全51日)のうち3分の1にあたる17日間で、雨・台風に見舞われたこと。

(台風による終日閉園2日、14時以降閉園1日)

○会場駐車場の利用要件

当初は障がい等により歩行困難な方及び団体バスの利用のみとし、一般の方は鳥取駅又は臨時駐車場からのシャトルバスによるパーク&ライド方式としていたが、車社会に慣れた県民性に馴染まなかったこと。

※会期中、会場付近に駐車スペースを拡張し、土日祝日における65歳以上同乗車両及び、平日におけるすべての車両利用の開放など駐車場利用方法の改善を図った。

○他県での大型イベント

出雲大社大遷宮、伊勢神宮式年遷宮、瀬戸内国際芸術祭2013など、全国的に知名度が高く集客力の高いイベントが開催されたこと。

第12章 サテライト会場・まちなかスポット

❖ 1. 基本方針

- サテライト会場は、フェアの全県をネットワークする県中部、西部を情報発信の場とする。
- 鳥取市街地を中心に魅力あふれるまちづくりに繋がる場所を「まちなかスポット」として位置づけ、市民力による緑化推進や協働の意識の高揚を目指す。

❖ 2. サテライト会場

(1) 東郷湖羽合臨海公園

① あやめ池公園

現況樹林とタマノカンザシを活用したシェードガーデンを整備し、四季を通じて、日陰の植物が楽しめるような散策路を創った。

また、フェア期間中はハンギングバスケットがシェードガーデンの中に飾られ、東郷池を背景に一斉にサフランの花が咲いて会場を彩った。

② 中国庭園燕趙園

エントランスゲートの両側に燕趙園の建物に使われている色彩をイメージする赤・青・白等の葉物、花物のカラーリーフを混色したカラーリーフガーデンを設置した。

また、平成25年9月21日(土)にNHK「趣味の園芸」の公開収録も実施した。

③ JR松崎駅前

農業用の用具(背負い籠や柄杓等)を再利用したプランターと花木を組み合わせたギャラリー「いにしへの彩り回廊」をJR松崎駅前商店街で展開した。

三八市の発祥である「稲をかける竹(わたし)」をモチーフにした仕掛けに様々なプランターを展開した。

(2) とっとり花回廊

エントランスにマスコットキャラクター「花トリピー」のウエルカムガーデンを設置し、キクでさまざまな形のトピアリーを展示し、オータムフェスティバルを盛り上げた。

また、フェア期間中にポール・スミザー氏やバラ栽培家の高木絢子氏の講演会を開催した。

❖ 3. まちなかスポット

フェアの開催及びナチュラルガーデンの魅力をアピールするため、鳥取市内の既存の街区公園や交通・観光拠点等を中心に、フェア開幕までに26カ所でナチュラルガーデンや砂像等を制作した。

【まちなかスポット】

① 公園等(15カ所)

- ・ 3号吉方中央緑地(鳥取市吉方温泉)
- ・ 青葉町1丁目公共空地(鳥取市青葉町)
- ・ 井原公園(鳥取市興南町)
- ・ 覚寺公共空地(鳥取市覚寺)
- ・ 瓦町公園(鳥取市瓦町)
- ・ 湖山南2丁目公共空地(鳥取市湖山町南)
- ・ 鹿野城跡公園(鳥取市鹿野町鹿野)
- ・ 新的場公園(鳥取市的場)
- ・ 滝山公園(鳥取市滝山)
- ・ 立川5丁目公共空地(鳥取市立川町)
- ・ 大寺屋1号公園(鳥取市湖山町北)
- ・ 浜村砂丘公園(鳥取市気高町浜村)
- ・ 南城北公園(鳥取市南安長)
- ・ 南町公園(鳥取市南町)
- ・ 美萩野深沢公園(鳥取市美萩野)

② 交通・観光拠点(7カ所)

- ・ 鳥取空港(鳥取市湖山町西)
- ・ JR鳥取駅北口(鳥取市東品治町) 2カ所
- ・ JR鳥取駅風紋広場(鳥取市東品治町)
- ・ JR米子駅前だんだん広場(米子市明治町)
- ・ 鳥取砂丘砂の美術館(鳥取市福部町湯山)
- ・ イオン鳥取北店(鳥取市晩稲)

③ 官公庁(4カ所)

- ・ 鳥取県庁(鳥取市東町)
- ・ 鳥取市役所(鳥取市尚徳町)
- ・ 鳥取県民体育館(鳥取市布勢)
- ・ 鳥取市文化センター(鳥取市吉方温泉)